

互いに認め合い 学び続ける 心豊かな生徒の育成

本校は都市化に伴う生徒数の増加により、昭和59年に御南中学校から分かれて開校し、昨年40周年の記念式典を終え、今年で41年目を迎える全校生徒417名の中規模の学校です。校内にある泰山木は6月に常緑の葉の中に白い大きな花を咲かせます。物事の真理を見通す若人の象徴として開校時に校木に選定されました。正門には「誠実・忍耐・創造」の校訓碑が設置されています。互いに尊重し合い、学び合う中で新しいことや困難なことにも挑戦し、夢や希望に向かって粘り強く努力する生徒に育てほしいという、地域の方々や保護者の願いが込められています。今年度もこの教育理念を実現すべく『チームよしちゅう』として教職員一丸となって生徒の育成に取り組んでまいります。

教育活動としては、平成24年度から道徳教育の充実に取り組み、授業づくりの研修を重ねながら、今日まで道徳の授業を実施しています。成果として自分の思いを表現できる生徒が増え、教室に支持的な風土が生まれてきました。

また、数学の少人数学習を実施し、生徒一人一人によりきめ細やかな指導を行っています。

平成27年度から授業全般で協同学習を取り入れ「聴き合い伝え合い、学び合う授業の創造を目指して」という研究主題で授業改善を行っています。近年コロナ禍で協同学習の基盤となるグループでの学び合い活動などが十分に行えない日々が続きました。本年度は、研究授業や授業公開をより一層充実させ、協同学習の推進につなげていきたいと考えています。

また、GIGAスクール構想（一人一台端末の利用）では、今年度は生徒の端末の持ち帰りを進め「家庭学習での有効活用」についても推進していきます。

さらに生活面では「あいさつをしよう かえそう 広めよう」というスローガンのもと、保護者や地域の方々のご協力によりあいさつ運動を実施し、中学生ボランティアが活躍できる場を地域から提供していただくなどの地域とのつながりができてきています。今後より一層強固なものになるように進めてまいります。

また、保幼小中の連携をすすめ、芳田地区の子どもを中学校区一貫として育てていくといった視点から、5校園連携のPTA活動として年3回の「メディアコントロール週間(習慣)」を実施し、各家庭でメディアの有効利用を考える機会をつくっています。

このような様々な取組を実践し、家庭や地域のお力添えを引き継ぎながら、学区の幼稚園、小学校とも連携し、共通の目標と学びでつながる生徒集団の構築に努めています。

令和6年4月

岡山市立芳田中学校
校長 西川 裕